



JASDAQ

平成21年2月16日

各 位

株 式 会 社 焼 肉 屋 さ か い
代表取締役社長 緒 方 智
(JASDAQ・コード：7622)
問合せ先 取締役管理本部長 乗 松 康 弘
T E L : 0 5 2 (9 1 0) 1 7 2 9

第三者割当による新株式発行に関するお知らせ

当社は、本日開催の当社取締役会において、第三者割当により発行される株式の募集について、下記のとおり決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

発行要領

- | | | |
|----------------|-----------------------------------|-------------|
| (1) 発行新株式数 | 普通株式 | 200,000株 |
| (2) 発行価額 | 1株につき金 | 108円 |
| (3) 発行価額の総額 | | 21,600,000円 |
| (4) 資本組入額 | 1株につき金 | 54円 |
| (5) 割当方法 | 第三者割当による | |
| (6) 申込期間 | 平成21年2月24日(火)から
平成21年3月3日(火)まで | |
| (7) 払込期日 | 平成21年3月4日(水) | |
| (8) 割当先及び割当株式数 | 株式会社トーア食産 | 100,000株 |
| | 名古屋デリカフーズ株式会社 | 100,000株 |
| | 計 | 200,000株 |
- (9) 前号各号については金融商品取引法による有価証券通知書の提出による。

以上

【ご参考】

現在の発行済株式総数	22,127,000株 (平成21年2月16日現在)
(現在の資本金の額)	1,714,805,083円)
今回の増加株式数	200,000株
(増加する資本金の額)	10,800,000円)
増資後発行済株式総数	22,327,000株
(増加後資本金)	1,725,605,083円)

1. 増資の目的及び理由

(1) 増資の目的

当社は創業以来、企業理念として「遊び、輝き、人とともに」人間的に顧客に愛され永遠に発展する躍動的な企業を目指すことを掲げ、東海地区を地盤に、お手頃な価格、親しみやすい店舗づくりによる焼肉業態を中心に全国展開いたしております。

直近の事業年度である平成20年3月期におきまして、営業利益および経常利益では4期ぶりに、当期純利益では5期ぶりとなる黒字化を達成し、今期業績につきましても、平成21年1月29日付にて「特別損失の計上及び平成21年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」として、業績予想を下方修正させていただいてはおりますが、この第3四半期末におきまして当期純利益を計上しており、着実に業績の回復は進んでおります。

このように経営成績には回復がみられる一方で、財務面におきましては有利子負債が総資産に占める割合（45.1% 平成20年12月31日現在）は依然として高く、かかる財務面の再構築が急務となっております。当社としましては可及的速やかに有利子負債の圧縮を目指していることから、営業キャッシュ・フローをもって借入金返済等に充当し、有利子負債の圧縮へ充当しております。一方でこれまで、営業キャッシュ・フローをもって有利子負債を早期に圧縮することで、今後の事業展開に向けた資金確保が充分とはいえず、今後の事業展開に向けた事業資金の確保が必要となっております。

このような状況の中、当社の事業進捗における機動性を確保するため、平成20年12月24日付「第三者割当による新株式発行に関するお知らせ」にて発表させていただきました第三者割当による新株式の発行を実施いたしました。

しかしながら、平成21年1月16日付「第三者割当による新株式発行の一部失権に関するお知らせ」にて発表いたしましたとおり、新株式の発行予定数1,800,000株のうち、300,000株が失権となり、予定しておりました180百万円のうち、30百万円について調達することができませんでした。この度の第三者割当による新株式発行は、前回のファイナンスで調達できませんでした30百万円のうち、約21.6百万円を調達するものであり、当該ファイナンスを実施することで、失権に伴う未調達部分を補い、平成20年12月24日付「第三者割当による新株式発行に関するお知らせ」にて発表しております「牛井業態」の拡大や新規出店などの事業展開に備えるものであります。

なお、この度の資金調達による21.6百万円と前回調達いたしました150百万円と合わせ、171.6百万円となり、当初予定しておりました調達予定額（180百万円）に対し、約8.4百万円の不足が生じることとなりますが、事業運営の中でコスト削減等により資金を確保することで、当初計画の予定どおり進めてまいります。

(2) 第三者割当による新株式発行の方法を選択した理由

上記「(1)増資の目的」に記載のとおり、当社における総資産に占める有利子負債比率（平成20年12月31日現在 45.1%）が高水準にあることから、間接金融によらず、直接金融により資金調達することといたしました。また資金調達時期が明確であり、店舗等の出店計画を確実に決定することが可能であること、また平成20年12月24日付「第三者割当による新株式発行に関するお知らせ」において予定しておりました新株式の発行における失権部分の新たな発行であり、第三者割当による新株式発行の方法を選択いたしました。

2. 調達する資金の額及び用途

(1) 調達する資金の額（差引手取概算額）

調達する資金の総額	21,600,000円
発行諸費用の概算額	300,000円（登録免許税、電子公告調査料等）
差引手取概算額	21,300,000円

(2) 調達する資金の具体的な用途

当該第三者割当による新株式発行における資金の用途につきましては、差引手取概算額21,300,000円のうち、次期以降の新規出店工事・保証金、店舗リニューアル費用として13,000,000円、残額8,300,000円を今後の事業展開のため物件調査、メニュー開発、業態調査等の運転資金として充当する予定であります。

(3) 調達する資金の支出予定時期

平成21年4月～6月 新規出店工事・保証金、店舗リニューアル費用等 13,000,000円

その他事業展開のため物件調査、メニュー開発、業態調査等の運転資金に充当する予定であります。

(4) 調達する資金使途の合理性に関する考え方

当社は平成20年3月期に5期ぶりの当期純利益を計上いたしましたが、長期間に亘る純損失の計上から、平成18年6月における新株予約権の発行に伴う権利行使までの一時期において、債務超過に陥っていた時期もあり、平成19年3月期までは、「継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況」が付されておりました。そのため平成20年3月期以降におきましても、間接金融における制約が存在する状況でありました。そのため業績の回復とともに、非常に借入依存度が高い状態でありました財務体質の改善が非常に急務となっております。

依然として総資産に占める割合の高い有利子負債の減少を営業キャッシュ・フローから充当することで、負債の圧縮を進め、収支バランスを均一にしていくことで財務体質の改善を図っておりますが、あわせて今後の業績拡大に向けた新規出店費用等を確保することで、当社の業績拡大、安定化に加え、内部留保の増加に繋がるものであり、将来的な配当原資の確保になると考えております。また今回の第三者割当による新株式の発行は、平成20年12月24日付「第三者割当による新株式発行に関するお知らせ」からの失権部分の第三者割当による新株式の発行であり、一部失権により資金調達時期に差異が生じましたが、大きな影響はなく実質的に当初計画のとおり資金調達するものであります。

従いまして、かかる資金調達は当社の企業価値向上を通じて既存株主の利益に資するものであると認識しており、その資金使途には合理性があると判断しております。

3. 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の業績

(単位：百万円)

決算期	平成18年4月期	平成19年3月期	平成20年3月期
売上高	14,039	12,317	11,467
営業利益	△32	△131	813
経常利益	△125	△248	688
当期純利益	△3,563	△777	654
1株当たり当期純利益(円)	△654.30	△47.92	32.01
1株当たり配当金(円)	—	—	—
1株当たり純資産(円)	△241.92	41.84	72.40

(注) 平成18年6月5日開催の臨時株主総会において、事業年度末日を3月31日に変更いたしております。

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数

種類	株式数	発行済株式数に対する比率
発行済株式数	22,127,000株	91.6%
現時点の行使価額における潜在株式数	—株	—%
下限値の転換価額(行使価額)における潜在株式数	—株	—%
上限値の転換価額(行使価額)における潜在株式数	—株	—%

(注) 上記潜在株式数は、平成21年2月16日時点の条件で算出のうえ記載しております。

(3) 今回のエクイティ・ファイナンスの状況

発行期日	平成21年3月4日
発行株式数	200,000株
調達資金の額	21,600,000円
募集時における発行済株式数	22,127,000株
当初の資金使途	新規店舗設備及び運転資金
割当先	株式会社トーア食産 名古屋デリカフーズ株式会社

(4) 最近3年間に行われたエクイティ・ファイナンスの状況

①第8回新株予約権証券

申込期日	平成18年6月6日
新株予約権の権利行使期間	平成18年6月7日～平成21年6月6日
調達資金の額	3,000,000,000円（新株予約権行使時 1株につき200円）
募集時点における発行済株式数	5,627,000株
現時点における行使状況	行使済株式数 15,000,000株（平成18年7月27日）
当初の資金使途	店舗リニューアル設備資金及び借入金返済
支出予定時期	平成18年8月より随時支出
現時点における充当状況	借入金返済に全額充当いたしております。

②第三者割当増資

発行期日	平成21年1月16日
発行株式数	1,500,000株
調達資金の額	150,000,000円
募集時における発行済株式数	20,627,000株
当初の資金使途	新規店舗設備及び運転資金
割当先	株式会社ジー・コミュニケーション 株式会社大光 株式会社トーア食産 株式会社松屋栄食品本舗
支出予定時期	平成21年2月以降随時支出予定

(5) 最近の株価の状況

①最近3年間の状況

	平成18年4月期	平成19年3月期	平成20年3月期
始 値	1,210円	895円	498円
高 値	1,385円	895円	500円
安 値	810円	477円	131円
終 値	900円	497円	146円

②最近6ヵ月の状況

	平成20年8月	平成20年9月	平成20年10月	平成20年11月	平成20年12月	平成21年1月
始 値	135円	103円	112円	107円	108円	126円
高 値	135円	121円	113円	112円	124円	136円
安 値	108円	95円	84円	105円	106円	120円
終 値	108円	111円	105円	107円	123円	124円

③発行決議日の直前日における株価

	平成21年2月13日
始 値	122円
高 値	123円
安 値	122円
終 値	123円

4. 増資後の大株主および持株比率

募集前（平成21年2月16日現在）		募集後	
(株)ジー・コミュニケーション	51.61%	(株)ジー・コミュニケーション	51.14%
(有)サカイ産業	3.74%	(有)サカイ産業	3.71%
稲畑産業(株)	3.72%	稲畑産業(株)	3.69%
坂井 大介	3.57%	坂井 大介	3.54%
(株)大光	1.39%	(株)大光	1.37%
坂井 哲史	0.92%	(株)トーア食産	1.34%
(株)J・ARTドリーム	0.90%	坂井 哲史	0.91%
(株)トーア食産	0.90%	(株)J・ARTドリーム	0.89%
自己株式	0.81%	自己株式	0.81%
井川 賢二	0.74%	井川 賢二	0.73%

(注)平成20年9月30日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された状況から、本日現在までに大量保有報告書等による移動確認等において当社が確認している状況に、当該増資により新たに交付予定の新株式数を反映いたしております。

5. 業績への影響の見通し

当該第三者割当による新株式発行により得られる資金を新規出店設備並びに既存業態の拡大のために投下することで、業績向上による企業価値の増大および手元流動性の向上に寄与するものと考えておりますが、現時点におきましては、新規出店開店日等の具体的なスケジュールは決定していないため、業績への影響は明確ではありません。

また平成20年12月24日付「第三者割当による新株式発行に関するお知らせ」にて発表しております「2. (3) 調達する資金の支出予定時期」における平成21年2月～3月の新規出店工事・保証金、店舗リニューアル費用等につきまして、現段階では候補物件の調査、工事見積りを行っており、最終的な業績寄与は次期以降になる見通しであります。

そのため具体的な新規出店投資による業績への影響につきましては、次期以降の事業計画において明確になる見通しです。明確になり次第、直ちにお知らせいたします。

6. 発行条件等の合理性

(1) 発行価額の算定根拠

当該増資に係る取締役会決議の直前日の当社株式の終値および同日までの6ヵ月間の株式会社ジャスダック証券取引所における当社普通株式の終値の単純平均値（112円）を参考として、昨今の株価動向と割当先における中長期的な協力関係を確認していることを考慮しつつ、割当先と協議のうえ、108円（ディスカウント率3.57%）といたしました。

(2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した理由

今回の第三者割当による新株式の発行において、発行規模は発行済株式数の0.9%であり、本件資金調達により既存株式に対する希薄化が生じますが、限定的なものと考えております。

今回の第三者割当による発行される株式の募集は、自己資本を増強することで財務体質を強化していく中での、業績拡大に向けた新規出店費用等を確保することであり、当社の業績拡大、安定化に繋がるものであり、企業価値の向上が達成されると考えており、今回の発行数量は合理的な規模の発行であると判断いたしております。

7. 割当先の選定理由等

(1) 割当先の概要

① 商号	株式会社トーア食産		
② 割当株数	200,000株		
③ 払込金額	20,000,000円		
④ 事業内容	食材の加工・卸売業		
⑤ 設立年月日	昭和57年3月17日		
⑥ 本店所在地	福岡県粕屋郡粕屋町大字阿恵453-1		
⑦ 代表者の役職・氏名	代表取締役 嵐 哲也		
⑧ 資本金の額	30,000,000円		
⑨ 発行済株式数	60,000株		
⑩ 純資産	321百万円		
⑪ 総資産	402百万円		
⑫ 事業年度末日	2月28日		
⑬ 従業員数	31名		
⑭ 主要取引先	プリマハム株式会社、株式会社丸協食産、株式会社トーホー		
⑮ 大株主及び持株比率	株式会社オラージュ (82.2%) 板谷 修 (17.7%)		
⑯ 主要取引銀行	西日本シティ銀行		
⑰ 当社との関係	資本関係	該当事項はありません。	
	取引関係	仕入食材の加工に関する取引を行っております。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
⑱ 最近3年間の業績			
事業年度の末日	平成18年2月期	平成19年2月期	平成20年2月期
売上高	1,252百万円	1,252百万円	981百万円
営業利益	15百万円	21百万円	19百万円
経常利益	19百万円	39百万円	18百万円
当期純利益	12百万円	24百万円	10百万円
1株あたり当期純利益(円)	207.34	405.81	179.31
1株あたり配当金(円)	75.00	75.00	300.00
1株あたり純資産(円)	4,993.60	5,257.75	5,362.07

① 商号	名古屋デリカフーズ株式会社		
② 割当株数	100,000株		
③ 払込金額	10,800,000円		
④ 事業内容	食材の加工・卸売業		
⑤ 設立年月日	昭和54年10月6日		
⑥ 本店所在地	名古屋市中川区東かの里町708番地		
⑦ 代表者の役職・氏名	代表取締役 鬼頭 利光		
⑧ 資本金の額	60,000,000円		
⑨ 発行済株式数	60,000株		
⑩ 純資産	586百万円		
⑪ 総資産	1,405百万円		
⑫ 事業年度末日	3月31日		
⑬ 従業員数	40名		
⑭ 主要取引先	株式会社あさくま、株式会社ユニフード		
⑮ 大株主及び持株比率	デリカフーズ株式会社 (100.00%)		
⑯ 主要取引銀行	中京銀行		
⑰ 当社との関係	資本関係	該当事項はありません。	
	取引関係	カット野菜等の食材の仕入れを行っております。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
⑱ 最近3年間の業績			
事業年度の末日	平成18年3月期	平成19年3月期	平成20年3月期
売上高	3,775百万円	3,995百万円	3,807百万円
営業利益	98百万円	149百万円	163百万円
経常利益	93百万円	146百万円	160百万円
当期純利益	53百万円	86百万円	96百万円
1株あたり当期純利益(円)	891.98	1,435.46	1,610.88
1株あたり配当金(円)	195.00	273.00	325.00
1株あたり純資産(円)	7,342.63	8,538.86	9,779.85

(2) 割当先を選定した理由

割当先として選定いたしました株式会社トーア食産、名古屋デリカフーズ株式会社は、既存取引先として、当社の事業運営に深くご理解いただいております、中長期的な協力関係及びご支援いただけるものと判断したため、割当先として選定いたしました。

なお当該割当先におきましては、反社会的勢力との取引関係および資本関係等において、一切有しておらず、また将来におきましても同関係を有しないことを確認いたしております。

(3) 割当先の保有方針

当社は割当先との間において、割当新株式について、継続保有及び預託に関する取り決めはありませんが、中長期的視点で協力関係を構築いただけることを確認しております。

なお割当先との間において、割当新株式効力発生日（平成21年3月4日）より2年間において、当該新株式の全部又は一部譲渡した場合には、直ちに譲渡を受けた者の氏名及び住所、譲渡株式数、譲渡日、譲渡価格、譲渡の理由、譲渡の方法等を当社に書面にて報告することの内諾を受けております。

(4) その他重要な契約等

該当事項はありません。

以上